

## 果物の大切さ

千葉県千葉市立検見川小学校 五年 大村 莉子

食べものは、毎年、たくさん量がはいきされています。私は果物も、たくさん量がはいきされてしまっているのかと思いました。

私は、SDGsの学習で、たくさん食べものははいきされていることを知りました。その食べものは、まだ食べられるものがあるということも知りました。そこで、果物はどうか調べると、約二百万トンだということが分かりました。なぜそんなにいっぱいされてしまうのかというと、食べ残し、期限切れ、皮のむきすぎなどが原因としてあるのだそうです。毎年、果物農家さんは、一生けんめいおいしい果物をつくっています。それなのに、一生けんめいつくった果物を、はいきしてはいけないと思います。その地いきのじまんの大切な果物です。私は、はいきされる果物を守るために、何ができるのか、考えてみました。私ができることは、大切な果物を食べ残さないこと、食べられる分だけ買うこと、皮をむきすぎないように、意識することなど、できることがたくさんありました。また、果物を使ったアレンジレシピを調べると、フルーツヨーグルトやフルーツゼリーなど、おいしそうなのがたくさんでした。そして果物を食べるといいことがあります。それは、果物で、元気な一日をスタートできることです。果物には、体調をととのえるビタミンや、きゆうしゆうしやすく、エネルギーのもとになる果とう、ブドウがたくさんふくまれているため、元気な一日にすることができます。

私は、この作文がきっかけで、果物の大切さを知ることができました。今、果物はたくさんはいきされてしまっているけど、今日から、果物を守るため、自分で取り組みをしてみようと思いました。みなさんにも、果物の大切さを知って、はいきされる果物を、守ってほしいです。